



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名	株式会社アビスト	
代表者名	代表取締役社長	進 顕
	(コード：6087、東証スタンダード)	
問合せ先	執行役員 経営推進部門	
	シニアマネージャー	藤田 知哲
		(TEL 0422-26-5960)

2025 年 9 月期 取締役会実効性評価結果の概要について

当社は、当社の持続的な成長と企業価値の向上、社会の持続的発展への貢献のための基盤として、コーポレートガバナンスを経営上の重要な課題ととらえております。このたび、2025 年 9 月期に開催された取締役会を対象に実効性の評価を実施し、その結果が取締役会において報告・審議されました。以下のとおり、評価結果の概要を公表いたします。

記

1. 評価方法・プロセス

- ・2025 年 9 月期を評価対象期間として、下記 6 項目（設問数全 24 問）について実効性の評価アンケートを実施し、その回答の集計結果をもとに取締役会において課題や今後の取り組みについて協議いたしました。（2025 年 8 月実施）
 - (1) 取締役会の構成
 - (2) 取締役会の運営
 - (3) 取締役会の付議事項
 - (4) 取締役会を支える体制
 - (5) モニタリング
 - (6) 投資家・株主・その他ステークホルダーへの対応
- ・実効性評価に関するアンケート結果に基づき、当社取締役会の現状及びさらなる向上のための対応方針について議論（2025 年 9 月実施）
- ・対応方針についての議論を踏まえて、取締役会にて実効性評価及び今後の対応方針を決議（2025 年 11 月実施）

2. 分析・評価結果の概要

上記による評価の結果、当社取締役会は上記評価項目について適切に機能しており、取締役会の実効性は確保されていることを確認いたしました。

一方、下記項目においては、改善の余地があることが確認されました。

- ・構成員の多様性・専門性については事業環境の変化に応じて引き続き検討が必要な点
- ・短期的および中期的な視点で、審議すべき事項の付議および経営戦略について、より多角的

な検証・議論が必要である点

3. 今後の取り組み

当社取締役会は、今回の実効性評価結果に基づく課題に対して、取締役会の更なる実効性向上のために必要な取り組みを実施し、改善に努めてまいります。

- ・構成員の多様性・専門性については事業環境の変化に応じて引き続き検討が必要な点

(取り組み内容)

社内の取締役・執行役員候補者の人材プールの充実化を図るべく、2025年10月より次世代リーダーに対し実践的な専門教育を開始いたします。

また、事業環境に応じた取締役会全体としてのスキルマトリックスのスキル要件を定期的に見直し、必要に応じ、適宜、社外人材の役員登用なども検討して参ります。

- ・短期的および中期的な視点で、審議すべき事項の付議および経営戦略について、より多角的な検証・議論が必要である点

(取り組み内容)

社外取締役・社内取締役間の情報の非対称性を、より解消することを目的として、社外取締役・執行役員間のコミュニケーション機会の充実化を致します。

加えて、取締役会とは別に全取締役が参加する中長期戦略ワーキングを開催し、より多角的な議論の機会を創出致します。

4. 2024年9月期に設定した課題に基づく2025年9月期の取り組み実績

課題	実績
企業規模や事業環境を考慮した取締役会構成の柔軟な見直しが必要である点	経営判断の迅速性とコーポレートガバナンスの実効性とのバランスが取れた役員の構成へ柔軟に見直しを図る必要があることから、2025年9月期の役員の選任について、取締役の員数を9名から6名へ変更致しました。
中長期的な成長投資に関して、より客観的かつ多角的な検証・議論が必要である点	成長投資に関する投資判断について、定性的な検証だけでなく、投資回収期間、ROIや正味現在価値などの客観的指標にて当社が定める基準をベースに定量的に検証・議論する枠組みを構築・整備し、運用を行っております。

以上